

令和6年度 第52回 大学院セミナー

令和6年11月5日

分野名 (責任者名)(内線)	移植・消化器外科学 責任者名(江口 晋) 内線(7316)
演題 講師等	「自己完結型肝硬変再生療法 ～開発経緯、現状、展望～」 ＜講師＞ 高見 太郎 先生 (山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授)
概要	これまで当科では非代償性肝硬変症患者から全身麻酔下に約400mLの骨髓液を採取し、骨髓単核球分画を洗浄濃縮後に非培養のまま点滴投与する「自己骨髓細胞投与療法」の実績がある。しかしながら全身麻酔困難例も多く、以後は全身麻酔不要な低侵襲な肝臓再生療法の開発に取り組んできた。これまでのところ、自己骨髓間葉系幹細胞(MSC)を肝動脈投与する臨床研究「自己骨髓MSC肝動脈投与療法」を経て、医師主導治験「自己完結型肝硬変再生療法」を実施している(jRCT2063200014)。医師主導治験は5症例に実施しており、1年以上の経過を追えた初期症例では血清アルブミン値やPT%上昇を認め、C型肝硬変SVR後症例で肝硬度の低下も認めている。そこで本セッションではこれまでの開発経緯を含めて概説したい。
開催日時	令和7年1月30日(木) 18:00～19:00
開催方法	オンライン開催(Zoom)
備考	オンライン受講を希望する方は、以下申込フォームより登録をお願い致します。後日使用するURLをご案内いたします。 申込フォーム: https://forms.gle/BMSh5uwJ9MQoTfhC8 事務担当: 移植・消化器外科 医局 沼崎 内線: 7316 / Email: ayakonumazaki@nagasaki-u.ac.jp



- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)